



第26号  
令和5年7月

小松工業高校同窓会関東支部

発行責任者 中屋 豊司

# 12/2 (土) 関東支部総会開催決定！

次回関東支部総会は今年12月2日(土曜日)にこれまでと同様千代田区麹町の東京グリーンパレスに於いて、開催します。今回は第22回目となりますが、新型コロナウイルスが第5類に移行して4年ぶりの開催となります。出欠を含めた案内のはがきを9月頃にお送りしますので、皆さんの出席をよろしくお願い致します。

は**初参加の方は五千円**とします。これまででは2年に1回の開催でしたが、次回総会で決議をいただきますが、毎年開催に改める予定です。これは県外支部長会則があり関西・中京支部との連携の必要があることもあり、総会の開催を2年に1回ではなく、関西・中京と同じく毎年開催としたい。また本部から毎年10万円の補助もあり毎年開催が望ましいので、会則第7条を改訂することで次回総会にかけたいと思っております。

12月2日の土曜日は12時から総会開始13時より懇親会、15時より有志による2次会を経て解散は16時半頃の予定です。沢山の皆さんのご参加をお待ちしています。

## 関東支部役員について

改めまして久しぶりの関東だよりの作成になりました。コロナ禍で関東支部幹事会も3年余り開催できず、その間に訃報も耳にしたり、支部役員の方々も高齢となって幹

事会への出席がままならない方も出てきました。改めて今年度の主要な幹事の方々を紹介しておきます。

支部長：中屋豊司(44年建築)  
副支部長：早戸二郎(43年電気)  
副支部長：笠間治夫(41年機械)  
総務幹事：寺越健太郎(47年建築)

会計幹事：富本睦生(43年電気)  
会計幹事：村井貞憲(46年建築)  
会計監査：石川隆治(39年機械)

またこの関東支部だよりは中屋・早戸・石川・寺越の4名が担当して参ります。

なお本部の今期役員の3役は以下の方々です。

会長：山崎秀雄(44年建築)  
庶務：岡本敏(46年建築)  
会計：沢田貞(46年建築)

たものを改めて掲載させていただきます。たたくものです。

山下時男さんを偲ぶ

鈴木善昭(S31電気卒)

関東支部第二十一回総会(2019年11月開催)ではいつもと変わらず、元気で話していたのに、翌週、別の会合に出られ午後四時頃具合が悪く帰宅され救急車で病院に行き、そのまま入院、翌日亡くなられたとのこと、ご冥福をお祈りいたします。



の伝説的な出席依頼、二百五十名への電話攻勢を実行された故川上支部長の遺伝子を立て派に継承されたものであり頭の下がる思いでした。

支部長を辞められた後も、温かく助言をいただきました。地域社会においても活躍され、遅くから始められた囲碁についても、その熱心さに、同じ趣味を持つ小生も刺激され、再び集中して勉強するようになった。

支部長としての業績は何と云っても、関東だよりを立ち上げられたことです。この号で二十六号になりますが、機関紙については本部を含めダントツの業績です。我支部が誇りを持ってアピールできる活動です。

※鈴木さんは支部長も歴任されていますが、関東支部幹事最年長で、今年86才になられました。お元気で関東支部幹事も継続され、幹事会にほぼ毎回出席していただいています。本を読むのが大好きで、最近読む量は減ってきて

いるとおっしゃっています  
が、自宅はまだ書籍の山だそ  
うです。(記：寺越)

### 会員投稿

「ものづくり・技術の伝承・  
人づくりから業界のために」

木谷 宗一(46年建築科  
卒)



自分自身の会社人生(竹中  
工務店)を振り返ると、入社  
し18年7か月は作業所勤務  
23年5か月は内勤で技術研  
究所、東京本店技術部、現在  
の本生生産本部となるが一番  
長く在籍していたのが生産本  
部で定年後も含めると25年  
となる。現役時代は超高層ビ  
ルや大空間建築に多く携わり、  
建築の醍醐味や達成感を味わ  
うことができた。最後の作業  
所は秋田県の大館樹海ドーム

で世界最大の秋田杉を使った  
木造ドームである。



その後、本生生産本部で会  
社全体の技術の中核部門を担  
うことになるがこの間、技術  
開発管理や技術指導を行いな  
がら、人材育成にも注力した。  
独自の研修センターを立ち上  
げ「見て 触れて 体得する」  
というコンセプトのもとに現  
在まで4500名を超える卒

業生を社内外に送り出し、建  
築学会賞を受賞した。定年前  
から(一)日本建設業連合会  
(以下、日建連という)の施  
工部会長を拝命し、10年間  
外部団体活動に貢献した。他  
にも日本建築士会連合会や建  
築学会等に参加して業界の活  
性化に努めた。定年後8年間  
の主な業務は作業所巡回指導  
227回、本社技術検討会1

05回、外部団体活動594  
回、他JICA(ミャンマー  
技術指導)、大学の非常勤講師  
(東工大、早稲田大他)等、  
社内の業務よりも業界の対応  
が多くなっていた。これは日  
建連の施工部会長という立場  
がそうさせている。

現状の建設業界の大きな課  
題は「技能労働者の不足、入  
職者の減少」に加え、「生産性  
の向上」や「働き方改革」で  
ある。国内の建設投資額が5  
1兆円(2014年)から緩  
やかな右肩上がりです6兆円  
にもなってきた中で、3  
43万人(2014年当時)  
の技能労働者が10年後には  
入職者がいなければ215万  
人まで減少すると予測してい  
る。この業界の危機感を踏ま  
え、「魅力ある建設業界にする  
ために」数多くの施策を立て  
て活動してきた。

りに参加し、各団体の代表と  
の議論を重ね「工期の基準」  
を作成した。また、2020  
年には石井前国交大臣との意  
見交換会も開催され、鹿島建  
設の当時の押味社長(当時の  
日建連建築本部長)と二人で  
生産性向上について議論を重  
ねた。政府が本腰を入れ、改  
革に挺入れしようとしている  
今こそ、業界の新しい風を呼  
び込むチャンスであり、施  
工部会長の立場で物申すこと  
ができた。定年後に考えたこ  
とは「自社のためだけではな  
く、私を育ててくれた業界に  
恩返ししたい」その一心で業  
界各社を結束させ、日々改革  
推進に邁進した。入社して半  
世紀にわたる建築業界の仕事  
に「わが人生悔いはなし」の  
心境である。

2021年には「建築現場  
ものづくり魂」(彰国社)を刊  
行し、学生や若手ゼネコン社  
員に建設業界のものづくりの  
魅力を発信した。来年の春ま  
では「建築現場マネジメン  
ト入門」(彰国社)を刊行する  
予定で執筆中である。

※木谷さんは永年勤務された  
竹中工務店を昨年退職された  
ものの建築界での活躍は引き  
続いており、新しい書籍の発  
行にも意欲を見せていらっし  
やるようです。(記：寺越)

### 会員投稿その2

結束固いブラバン仲間

実高39年卒(機械)

石川隆治

昭和39年春、小松実業高  
校のブラバンの3年生12人  
が卒業した。

あれから59年、この間に  
仲間は2人亡くなったものの  
70歳を超えてからも3回目  
の同窓会が行われた。今回の  
きっかけ、体調不良で半年間  
の入院生活を強いられたメン  
バーが昨年暮れに退院して  
「富士山が見たい!」とのこ  
とである。富士山を見るには  
小松にいては叶わない。希望  
を企画に変換する千両役者が  
おり、結集地は「箱根」に決  
まった。小松6人、大阪、静



岡、神奈川、東京各1人の10人に声掛けして、8人（土奥様）が4月2日（日）箱根湯本に集結した。

懇親会は、2時間ワイワイガヤガヤ話が途切れる暇もない。話の中身は思い出話や健康面を主体にした世間話が多く、良くしゃべる人・聞き上手な人とそれぞれだ。昔から見れば酒量は随分少ない。平均しても一人大瓶ビール1本くらいだ。浴びるほど飲んだのは過去の話。部屋に戻って11時頃には就寝。

翌日は、芦ノ湖周辺観光で、最初に箱根神社にお参りして体調不良の方々の回復を祈願した。次にお目当ての富士山を眺めるため、ロープウェイで1327mの駒ヶ岳山頂まで行き、雪を被った富士山を眺める。当日は写真のように快晴であったが、気温6℃の寒い中でも十分に絶景を堪能し、目に焼き付けたと言っていたので、目的は十分に達成できたものと思われず。

その後、名物の箱根そばの昼食を挟み、箱根関所・資料

館を見学して、現地解散となった。解散は3グループで、小松組はレンタカー、路線バスで小田原経由新幹線・電車の公共交通機関組、自家用車組に分かれて帰路についた。今回の同窓会は桜の季節でもありまた、インバウンド観光客が多く賑やかな観光地の旅行となった。

常に今回が最後の同窓会と言いつつも続いている。今回は喜寿記念となったが、次回は3年後の傘寿当りが丁度いいかも知れない。しかし、参加者8人中でも障がい者手帳保有者2人、杖の必要者2人と確実に高齢化が進んでいる。全員元気で集合できたら素晴らしい。



なお、このミニ

同窓会の過去の一部は関東だよりに2回（4号及び20号）投稿させて頂いております。

※上の写真のカメラマンを務めた同行されたもう一人の方はこの方です。



※投稿された石川さんは後列右から2人目です。

## 偲ぶ記事その2

藏藤さんを偲んで

S37年機械卒 北本 拓

藏藤憲二さんが天に召されて早くも半年が過ぎました。高校では電気科で私が機械科でした。教室で机を並べる事は有りませんでした。でも、

電気科と機械科は校内のクラス対抗のスポーツ大会や弁論大会、催し物大会等々では何時も対抗意識が高く、「負けるな電気科」「負けるな機械科」と互いに切磋琢磨の3年間を過ごした思い出が今でも目の前に浮かびます。

その対抗意識で就職活動にも電気科より大企業の入社を競ったものでした。藏藤さんの電気科は超一流の東京電力、機械科は地元の小松製作所を目指して勉強にも力が入っていました。

卒業後の藏藤さんは超一流企業の社員として、私は大学へと道はそれぞれ違いました。その後お会いする機会も

なく、再びお会いできませんでした。母校の関東支部のこの同窓会でした。藏藤さんはすでに同窓会の役員として日々お忙しく、いろいろな業務を的確に遂行されていました。

長きにわたって同窓会の活性化に尽力されました。本当に感謝感謝です。

ここに生前の献身的な同窓会愛を皆さまに御紹介するとともに、御冥福をお祈りし、哀悼の意を表したいと思えます。

※藏藤さんは記事にあるとおり永年関東支部の役員として活躍され、支部長の重責も担われましたが、昨年10月にお亡くなりになりました。79才かと思えます。なお投稿いただいた北本さんの顔写真は本人の希望で掲載していません。（記：寺越）

## 恩師の近況

建築科押野慶祥先生訪問

さる4月16日に建築科4期生のクラス会が小松で開催

され、その開催前に恩師である押野先生を訪ねました。奥様とお二人の写真です。

建築科の卒業生には変わらない先生の姿に写っているのでしょうか？それとも80才になられた先生をどのように思われたでしょうか？



この日は4期生で亡くなった方（6人います）の線香を先生の正覚寺であげていただいたあと、当然のことながら先生も栗津温泉で開催されたクラス会にも参加され、翌日まで一緒に楽しい時間を過ごされました。なおこの建築科4期生のクラス会には特別参加で建築科1期生である本部長の山崎さんと、関東支部長の中屋さんも参加されました。（記：寺越）

## 幹事会報告

コロナ禍の中、関東支部の幹事会が再開できたのが今年の11月19日でした。お知らせしたとおり、次回の関東支部総会の開催と関東だよりの再開をメインの議題としてその後今年の1月21日の関東だよりの編集会議と4月22日、7月15日の幹事会開催と続き、この関東だよりの26号の発行と12月2日の関東支部総会の目途が立ちました。

※今後の関東支部活動の課題は若手の参加にあります。若手の参加や幹事就任の働きかけが必要で、幹事の年齢が上がってきており、現幹事も大半が70台・80台であり、60台前半以下の若手の幹事登用が望まれます。12月2日の関東支部総会の若手の出席者を募る（初参加の方の会費は半額の五千円としました。）と共に、幹事就任を働きかけたいと思っていますので我々と思わん方は是非手を挙げ

てください。

## 同窓会の動き

### ●関東支部の今後の予定

- ・2023年9月…関東だよりの第26号発行予定
- ・次回総会・懇親会は12月2日となります。

### ●本部

- ・同窓会名簿発刊のお知らせ…下記案内
- ・7月7日常任理事会開催（中屋支部長参加）
- ・9月30日同窓会総会・懇親会（小松グランドホテルにて）

### ●中京支部

- ・7月30日総会・懇親会
- 支部長参加予定

### ●関西支部

- ・10月14日総会・懇親会
- 支部長、総務幹事参加予定

※いしかわ県人祭イン東京が今年もホテル椿山荘で開催されます。

10月27日（金）18時半より。会費は男性1万円、女性7千円の予定です、16時

より関連イベントの開催もあり、ミニステージやいしかわ物産市、茶会なども催されます。6月27日に実行委員会が開かれ中屋支部長も参加されました。参加希望の方は支部長から参加申込書の提出をしてもらおうことになります。

### ●会員逝去のお知らせ

- ・宮川吉男同窓会前会長…令和4年11月（S42年機械）
- ・藏藤憲二元関東支部長…令和4年10月（S34年電気）
- ・世戸繁男支部役員…令和5年1月（S40年電気）

### ◆編集後記

関東だよりの前回発行は4年前の2019年3月でした。漸く再発行できましたが、今後は年1回の発行ペースの予定です。

関東便りの投稿をお待ちしています。800字から1000字程度で、仕事・趣味・家族・最近思うことなど内容は問いません。よろしくお願ひ致します。

関東だよりは、関東地区在住の同窓会会員のために発行しています。ご意見、ご投稿又は住所を変更された方、紙面広告を希望される方は下記までご連絡ください。

編集担当 寺越 健太郎  
住所：〒194-0022 東京都町田市森野 1-1-21-206  
TEL・FAX：042-739-1875 携帯：090-4246-5833  
mail：ken.terakoshi0724@yahoo.ne.jp

## 令和6年版名簿発行のお知らせ

このたび、令和6年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。「安全」「正確」なデータ管理のため、同窓会を総合的にサポートする専門会社サラトに業務を委託しています。同社より確認がきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和6年1月下旬
- 体 裁：A4判（約450頁）
- 名簿価格：5,000円（送料・税込み）

名簿作成委託先

株式会社サラト（兵庫県姫路市）のホームページ  
<https://salat.co.jp/>